

NEWS RELEASE

<http://www.takara-bio.co.jp>

2016年7月19日

TB16-0595

第22回日本遺伝子細胞治療学会学術集会にて 遺伝子治療の臨床試験／臨床研究の成果を発表

タカラバイオ株式会社は、メラノーマを対象にした腫瘍溶解性ウイルス HF10、固形がんを対象にした siTCR 遺伝子治療、造血器腫瘍を対象とした CAR 遺伝子治療などの臨床開発を進めています。

このたび、これらの遺伝子治療プロジェクトの臨床試験／臨床研究の成果などを第22回日本遺伝子細胞治療学会学術集会(本年7月28日～30日、於・虎の門ヒルズフォーラム)にて発表いたします。

本学術集会で発表する演題の一覧は下記のとおりです。

演題名	(参考)日本語演題名	発表日時・場所・演題番号
Cutting edge of Oncolytic Virus Immunotherapy	日米の腫瘍溶解性ウイルス療法最前線	7月29日 12:00～13:00 共催セミナーⅣ
Analysis of tumor infiltrating cellular immune compartments in combination treatment of HF10 with anti-CTLA-4 antibody.	抗 CTLA-4 抗体と腫瘍溶解性ウイルス HF10 併用時の腫瘍浸潤免疫コンパートメントの解析	7月28日 16:00～16:50 一般口演 演題番号:OR-014
CD269-targeted CAR-modified T cells showed promising therapeutic efficacy in an orthotopic mouse model of multiple myeloma.	同所性多発性骨髄腫のマウスに対する CD269 特異的 CAR-T 細胞の治療効果	7月28日 17:30～18:10 一般口演 演題番号:OR-020
Simple and Effective Ultracentrifugation-free Large-scale Purification of Recombinant Adeno-Associated Virus Serotype 9 (rAAV9)	超遠心分離を使用しない簡便かつ効率的な9型組換えアデノ随伴ウイルスの大規模精製方法	7月29日 9:10～10:10 一般口演 演題番号:OR-025

Robust Production of High Purity Endothelial Cells from Various Human Pluripotent Stem Cells	様々な iPS 細胞株からの高純度内皮細胞の作製	7月29日 10:00~11:00 一般口演 演題番号:OR-034
Manufacture of chimeric antigen receptor(CAR) gene transduced T cells for clinical trials	臨床試験に向けたキメラ抗原受容体(CAR)遺伝子導入T細胞の製造方法	7月29日 17:40 ~ 18:10 ポスターセッション 演題番号:PO-71
Development of measuring <i>in vivo</i> cell kinetics of retrovirus-mediated gene engineered T cells in patients who received the T cell transfer	患者血液中の遺伝子改変T細胞の測定方法の開発	7月29日 17:40 ~ 18:10 ポスターセッション 演題番号:PO-72
Ex vivo expansion of human mesenchymal stem cells in combination with defined serum-free media and RetroNectin® for clinical use	無血清培地とレトロネクチンを用いた臨床用ヒト間葉系幹細胞の <i>ex vivo</i> 拡大培養法	7月29日 17:40 ~ 18:10 ポスターセッション 演題番号:PO-85
Combination therapy of squamous cell carcinoma mouse models with PD-L1 immune checkpoint inhibitor and oncolytic herpes simplex virus HF10	扁平上皮癌マウスモデルに対する、免疫チェックポイント阻害剤抗 PD-L1 抗体と腫瘍溶解性ウイルス HF10 の併用療法	7月29日 17:40 ~ 18:10 ポスターセッション 演題番号:PO-90
Systemic delivery strategy of oncolytic herpes simplex virus HF10 adsorbed on antigen-specific lymphocytes	抗原特異的リンパ球を用いた腫瘍溶解性ウイルス HF10 の全身送達法	7月29日 17:40 ~ 18:10 ポスターセッション 演題番号:PO-91
Combination treatment of human cancer xenograft models with the conventional chemotherapeutic drug and oncolytic herpes simplex virus HF10	ヒト癌移植モデルを用いた、化学療法と腫瘍溶解性ウイルス HF10 の併用療法	7月29日 17:40 ~ 18:10 ポスターセッション 演題番号:PO-92

Enhanced Anti-tumoral activity of oncolytic herpes simplex virus HF10 with Cetuximab against human colorectal cancer	ヒト大腸癌モデルに対する、セツキシマブと腫瘍溶解性ウイルス HF10 の抗腫瘍活性の相乗効果	7月29日 17:40 ~ 18:10 ポスターセッション 演題番号:PO-93
Stability comparison of recombinant serotype 2 adeno-associated virus vectors with wide type viruses under different conditions relevant to gene therapy trials	組換えアデノ随伴ウイルスベクターの安定性に関する研究	7月29日 17:40 ~ 18:10 ポスターセッション 演題番号:PO-105
Construction of One-stop GMP manufacturing facility	多品目製造に対応するワンストップ GMP 製造施設	7月29日 17:40 ~ 18:10 ポスターセッション 演題番号:PO-106

当資料取り扱い上の注意点

資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

この件に関するお問い合わせ先
タカラバイオ株式会社
事業開発部
Tel 077-565-6970